



XP祭り2024

エクストリームな「人」を真似てみることの ススメと対策

2024年9月28日



0.はじめに

1.エクストリームな人々の中で感じること

2.バッドループの考え方を抜け出すために探究の根に着目して



0. はじめに～自己紹介



小泉 岳人



X (Twitter) : @koitake_

note

: https://note.com/rich_hyssop406/

趣味：コントラバス
漫画

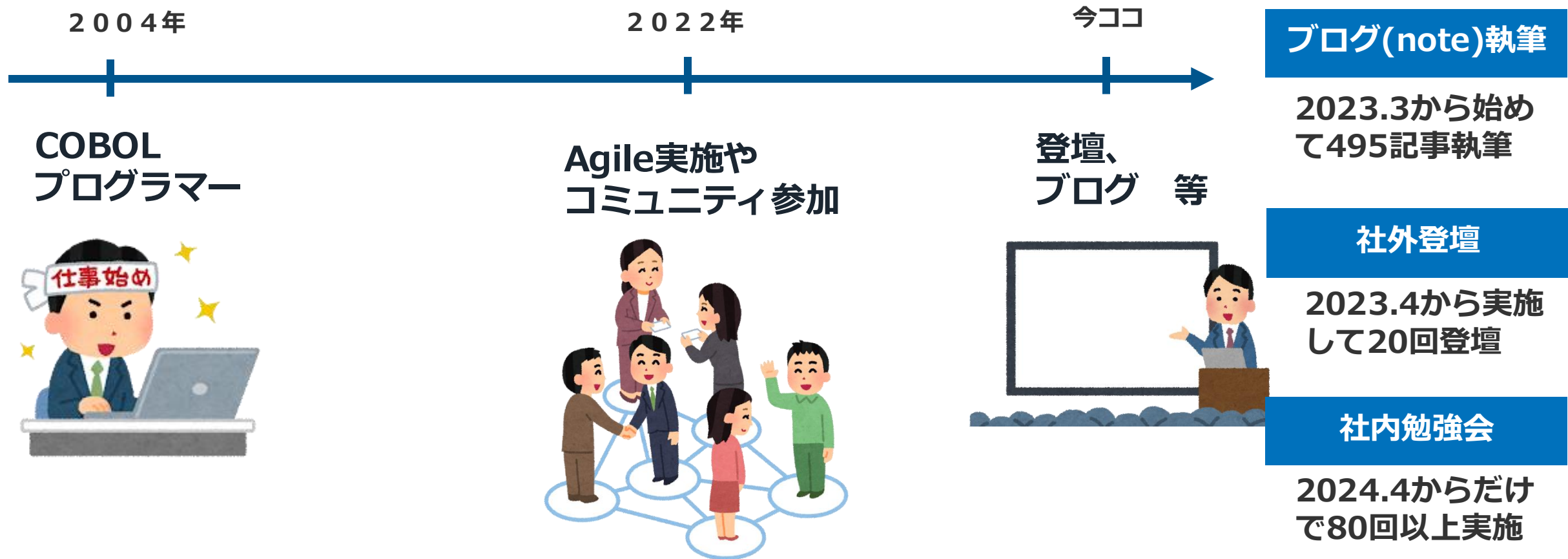
好きな食べ物：餃子



羽根つき餃子の町 蒲田に
住んで蒲田で働いています



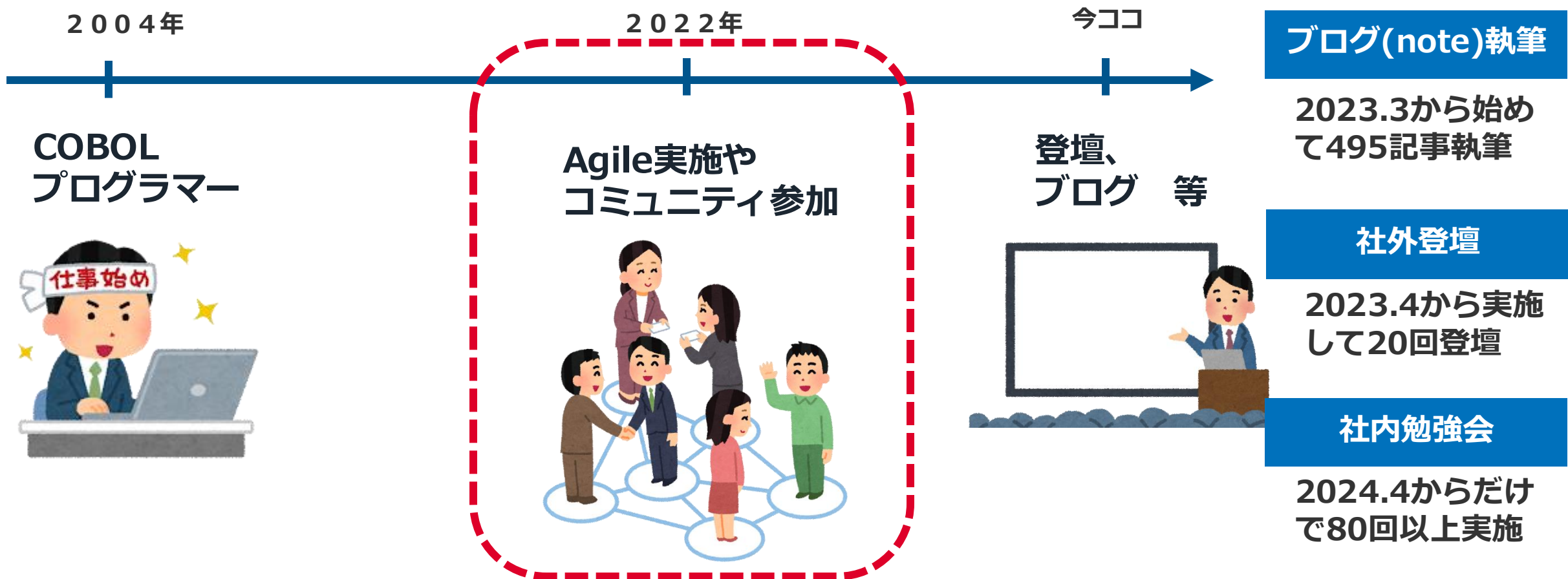
20年間ずっと同じ会社で働きつつも最近急に変容





20年間ずっと同じ会社で働きつつも最近急に変容

この出会いが多く影響





エクストリーム（最高な/超楽しい）な方々との日々のお会い



夜な夜な白熱するコミュニティ
での対話



SNSで起こるディスカッション
や楽しそうな発信

コミュニティで出会うエキストリームな方々



アジャイルの話を永遠と続けられるので、13:00からの登壇を昼休みから2時間話して終わらない人

アジャイルに関するブックオフの釣果と感想が毎日流れて来る人

コンウェイの法則の数学的証明を喜々として話す人

自治会なりPTAなりも含めてアジャイルな進め方で楽しんでいる人

プロダクト開発が好きすぎて4年で21,000,000字wikiを書いている人

技術広報としてどのイベントにもいて、乾杯している人

勉強会に1年で1000回位のペースで参加している人

「やってみましょう」のノリがすごい、よく質問している人

ふりかえりという言葉を使うと、トレースされる人

50歳まで仕事すると宣言して、毎年本を出している人

マネージャーとエンジニアがSNSでイチャイチャしているメッセージが届く人達

火を燃やしたりしながら恩送りしている人

10年以上続くチームを作りながら、9500円の本を配っている人

みんなが寝てる明け方に「おはようございます」とSNSが届く人

短パンでプロセスしながら創発を生み出している人

海外のアジャイルの記事をポストしているハトの人

スクラム関係で調べると必ずでてくるブログでDeep Diveしている人

実体がv-tuberです。という人

アジャイルの歌を作っているプロダクトマネージャー

And More . . .



一方で・・・

あんな風になれたらな



自分には
できない





- **自分には無理だと思わず、
自分の好奇心のタネを育てたくなる**
- **登壇や記事発信等アウトプットしたくなる**



1. エクストリームな人々の中で感じること



カンファレンスに行くと



いいなあ。自分でも
ちょっとやってみよう





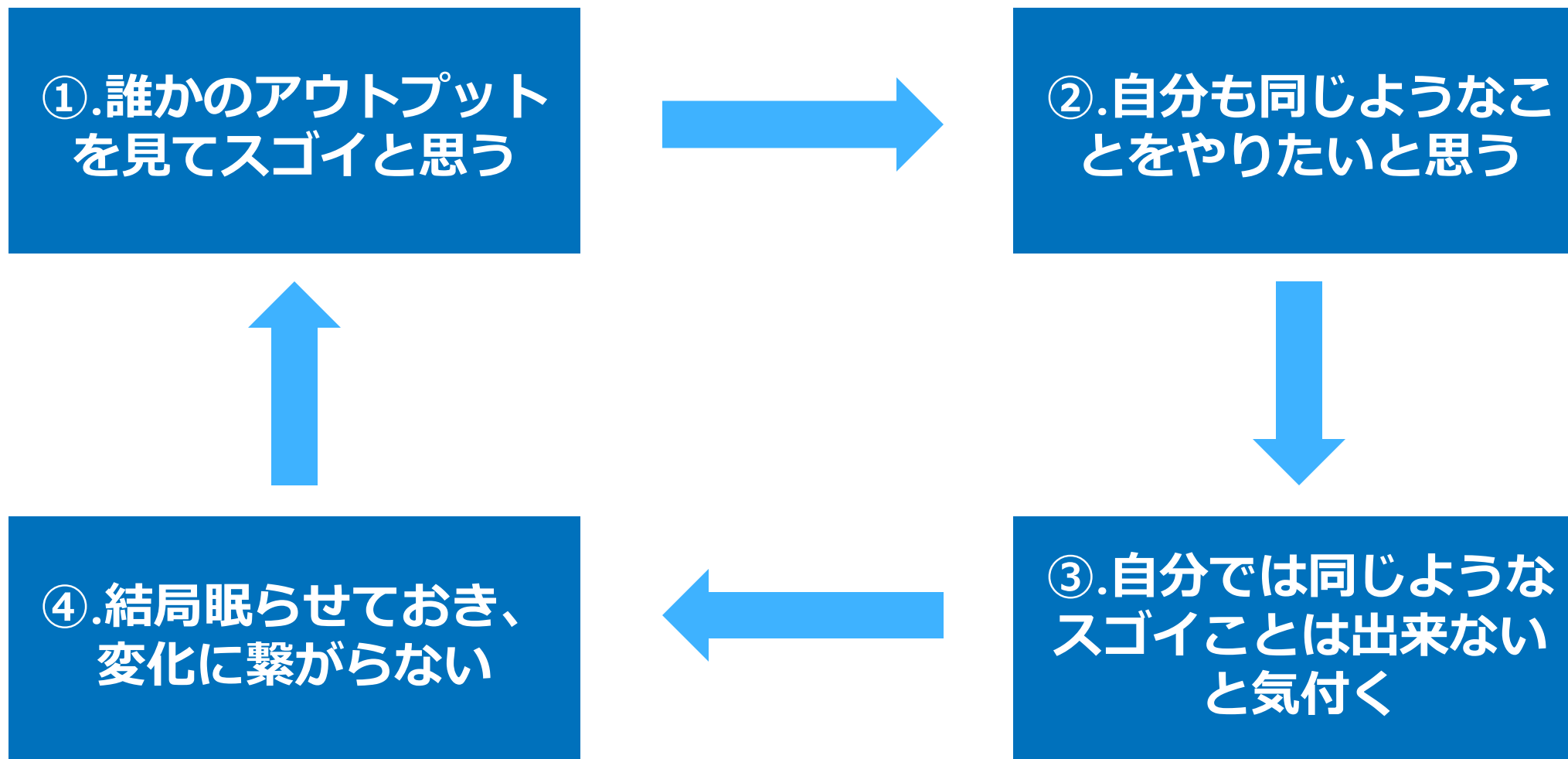
上手くできなそう . . .

もっと良い方法があるのでは？

ミーハーみたいで恥ずかしい . . .



⇒ まだだ、まだその時ではない！！







上手くできなそう



上手くやるためには熟達がいる。
やらないと上達しない

プロダクトを構成するプロセスに紛れる初心者

- 2-3回 初心者
- 10回 慣れ始めた
- 100回 慣れて、細かな良し悪しを判断できる
- 1000回 人に教えられる、もっとよく改良できる

- ・プログラミング
- ・ユーザーストーリーマッピング
- ・リーンキャンパス
- ・ユーザーインタビュー
- ・プロダクトのレビュー
- ・朝会
- etc...

それぞれ何回
やっただろう？

ほぼ初心者のプラクティスが
仕事のプロセスの多くを占めていたり
重要な意思決定の軸に据えられているとしたら危ない

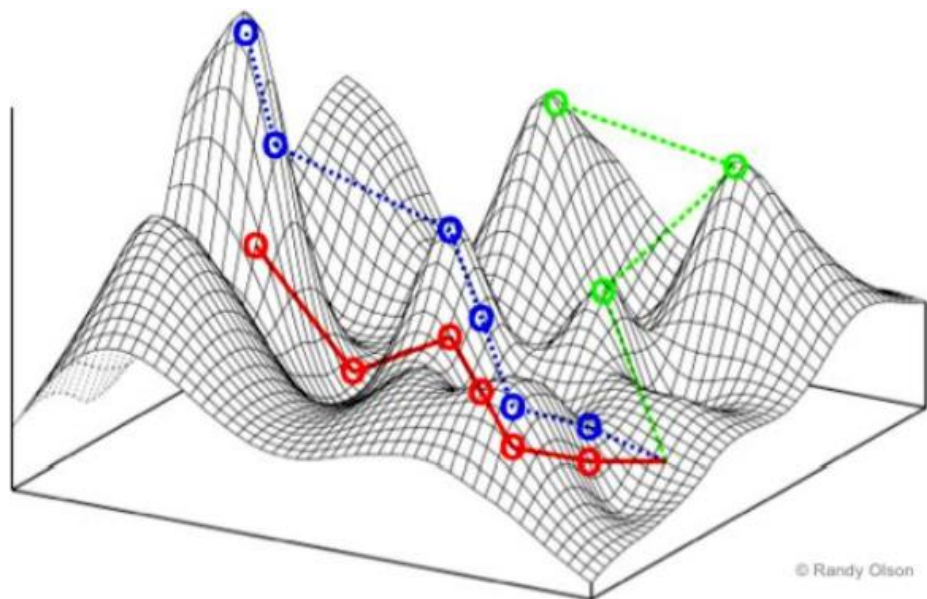
スクフェス大阪2023_森雄哉_ChatGPTを前に頭が真っ白を乗り越え人が答えることが困難な認知負荷MAXなタフクエスチョンをどんどん回答させてプロダクト価値を爆速探求する



もっと良い方法があるのでは？



動いて見ないと良い方法が分かりづらい時代になっている



14章 変革の地形

高い山は適応を表し、山、谷自体も変わっていく

山や谷を移動することでさらに高い山が見える。
= 試していく必要性






ミーハーみたいで恥ずかしい

- ・ 良くしよう。成長しよう。と
思う人に対して悪く思う人はいない
- ・ そもそも周りにはそんなに気にしていない



自意識過剰と分かってはいるが、
恥ずかしいものは恥ずかしい

An art gallery with many paintings on the wall and wooden tables in the foreground. The paintings are arranged in rows and include various subjects like landscapes, abstract art, and still life. The room has large windows on the left and a wooden floor.

誰も気にしていないとわかってはいても、
発信する時に、絵画コンクールに
絵を出すような、周囲の目が気になる感覚がある



「興味タネ」から「探究の根」が伸びその結果が「表現の花」として表に出てくる

普段見ている「表現の花」よりむしろ地下深くに様々な方向に延びた探究の根が本質である



「自分だけの答え」が見つかる 13歳からのアート思考
末永 幸歩 (著)




**「OUTPUTの花」を意識しすぎずに
「探究の根」を意識して、探究の根を
伸ばすために、OUTPUTしよう！！**



とはいえ、どこからOUTPUTしよう??



発信活動はどれも等しく価値がある。自分に合ったところから発信数を増やすよう意識。また一定仕組み化する

- 
1. チャットでの反応、X等のいいね
 2. 勉強会等への参加、コミュニティ参加
 3. 勉強会で感想を言う、コミュニティで発言する
 4. 分報、X等でのリポストやコメント
 5. チームブログで発信、個人でのブログ記載
 6. 社内登壇、社外登壇

社内運営、社外運営



発信活動はどれも等しく価値がある。自分に合ったところから発信数を増やすよう意識。また一定仕組み化する

難易度



1. **チャットでの反応、X等のいいね**

チームで反応するようにルール化

2. **勉強会等への参加、コミュニティ参加**

感想を共有する勉強会を繰り返す

3. **勉強会で感想を言う、コミュニティで発言する**

4. **分報、X等でのリポストやコメント**

分報の運営を作って盛り上げる

5. **チームブログで発信、個人でのブログ**

チーム内リレーブログ

6. **社内登壇、社外登壇**

発信しているコミュニティに参加

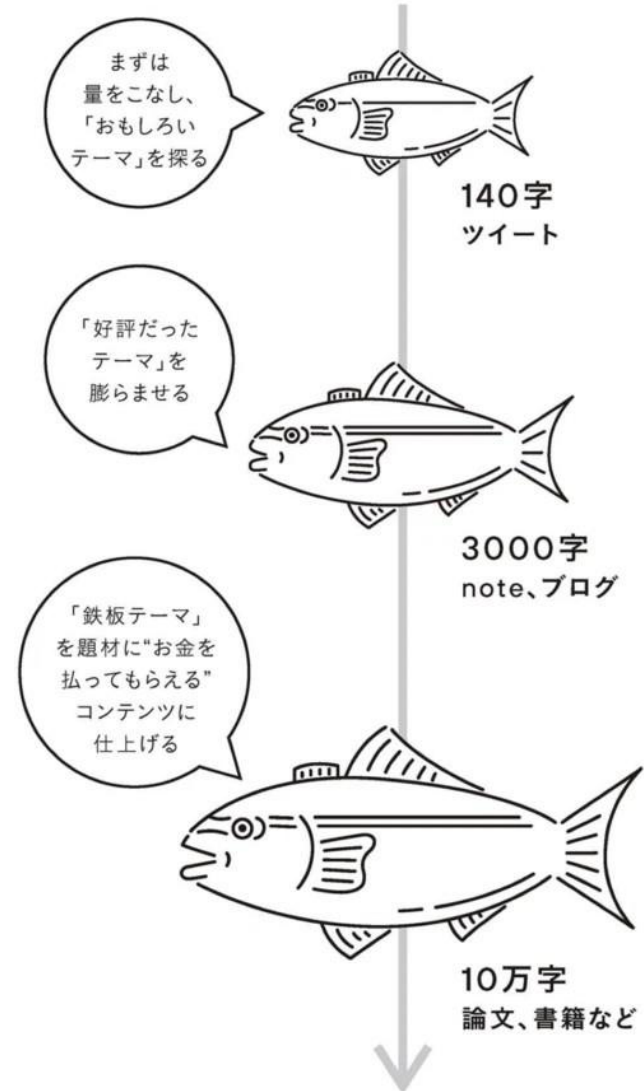


小さなOUTPUTから育てていく：出世魚理論



書くのがしんどい 竹村 俊助 (著)

発想は「出世魚」のように育てる





2. バッドループの考え方を抜け出すために 探究の根に着目して



1. ブログについて

- ・ ほぼ毎日ブログを書くために

2. 社内勉強会について

- ・ いかに社内勉強会を毎日やっているのか

3. 社外登壇

- ・ 社外登壇で探究していること



ブログについて

2022.12.31

記事書けないまま、
3カ月・・・



aki.mさんに
出会って真似する

2023.3～

コミュニティや勉強会の
備忘録を中心に書き始める

note始めます

♡ 3

 小泉岳人
2022年12月31日 23:39

2023年は学んだことや仕事で感じたことを発信しようと、大みそかにnote登録してみました。

さて、何を投稿しよう。。。

aki.m

@Aki_Moon_ フォローされています

Agile, QA, 金融あたりの勉強会に1年で1000回位のペースで参加しつつ、イベントの様子を中心に1200日くらい連続でブログを書いています

今までに約500記事！！！！



花に着目

- ○○さんがもっと良い記事書いているし、自分が書く必要ないかな
- 内容があってるか不安。見られると恥ずかしいな
- 人に見てもらえないし、コスパ/タイパ悪いな。



根に着目

- ○○さんはこういった事に着目するんだ。面白いな
- 書く事で、考えて気づきがある事も多い！
- どうしたら、楽に書く事出来るか実験しよう



社内勉強会について

2021.1~

自分で読んだ本をまとめて
勉強会を実施



夜な夜な実施される
どうかategorライズして良いか
わからない会(勉強会?)

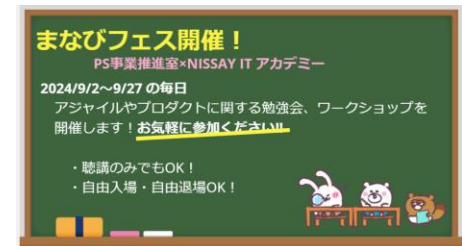
⇒この辺の心構えを真似てみる



講師が大変!!!
人が集まらない!!

2023頃 ~

自分たちが楽しめる事、楽に継続
できることをポイントに継続



毎日、社内勉強会? を実施



花に着目

- ・ 参加者何人以上！！
- ・ 勉強会をもっと盛り上げたい
- ・ 参加者にとって価値が得られる勉強会の実施
- ・ 有名な人に講師してもらえる



根に着目

- ・ 自分の学びは何か？
- ・ 自分が楽しむためにはどうすれば？
- ・ 「勉強会」という媒体を使って面白い事出来ないか
- ・ 楽に継続するにはどうしたら？



参考：MIMIGURIさんで整理している学習観

MIMIGURIの基盤となる学習観の整理

こういうものではない🙅

教材から学ぶ

ひとり孤独な作業

スキルの習得

権威ある専門家を目指す

あくまでインプット

あくまで個人の変化

→

→

→

→

→

→

このように捉えたい🙋

経験から生じる

コミュニティへの参加

アイデンティティの変容

絶えざる専門性の拡張

創発の過程も含む

集団の変化も含む

https://note.com/yuki_anzai/n/ncc420e09bd1c



社外登壇について

2023.4 初めての社外登壇(頼まれて実施)



自分なんかが
社外登壇なんて・・・



アジャイル始めたメンバーが
続々登壇。コトネさんの資料に
書いてあることを真似てみる

スクフェス新潟2023 5/20 17:00-17:45 JST @NINNO3 RoomC
「あなたすごい人、私ふつうの人」を乗り越える！
経験をプロポーザルにしてみよう
ことね (板谷美玲)

<https://www.docswell.com/s/ktnyt/5YW1JD-scrumfest-niigata-2023>

Distributed
Agile Team

「スクラムは、プロダクトを意識したフレームワーク。
『登壇は、発表がプロダクト/プロポーザルがMVPともい
える』スクラムやっているのにプロポーザルや発表が上手
くできないのは本当にスクラムやれているのか??」
⇒登壇をプロダクトと見立てて、真似てみる

現在 毎月プロポーザル提出や企画をして、毎月登壇 (探究)



花に着目

- ・ 発表バズりたい！
- ・ 価値ある発表と認められたい
- ・ たくさんの人に見てもらいたい
- ・ 褒められたい



根に着目

- ・ 考えている事、やったことを言語化して棚卸したい
(関係づけたい)
- ・ 関係性を築きたい
- ・ 自分のプレゼンテーションスキル、ストーリーテリングスキルをあげたい
- ・ プロダクトスキルを高めたい



**花がダメと言っている訳では無く、
花も超大事で重要。。**

**ただ花だけを目指すのではなく自分
の「探究の根」を延ばすことを考え
ないと辛くなる**

※ 「探究の根」を考えると自然と頻度が上がる気はする・・・



- しゃべりに対して、苦手意識がある
- 考えを関連付けたい
- 創発的なアイデアを生み出したい



高頻度なポッドキャストやってたら、変容がありそう

（でも恥ずかしいなあ。僕なんかしゃべるなんて・・・。）

※この発表の初めに戻る

恥ずかしいと思っても自分の探究心に
シンプルに従って、**勇気**をもって発信しよう

発信してくれた人を**尊重**して、**フィードバック**・
コミュニケーションしよう

そうすることで、エクストリームな人（最高な・超楽
しい）になれる（と思う）

※SPの5つの価値

Fin